

主日礼拝

2022 年 09 月 04 日
午前 10 時 30 分前奏 「愛する主イエスよ我らはここに」
(J.S.バッハ)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「主にのみ、わたしは望みをおいていた。
主は耳を傾けて、叫びを聞いてくださった。
滅びの穴、泥沼からわたしを引き上げ
私の足を岩の上に立たせ
しっかりと歩ませ
わたしの口に新しい歌を
わたしたちの神への賛美を授けてくださった。
人はこそって主を仰ぎ見
主を畏れ敬い、主に依り頼む。
いかに幸いなことか、主に信頼をおく人
ラハブを信する者にくみせず
欺きの教えに従わない人は。」 (詩編 40:2~5)

頌栄 26「グロリア」



信仰告白 使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架に
つけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に
死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父
なる神の右に坐したまへり、かしこより来たりて、
生ける者と死ねる者とを審きたまはん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、
罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の命を信ず。
アーメン

祈祷

献金 ご用意のある方は、神さまへの感謝の気持ちをもってお献げください。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。アーメン。

聖書 マルコによる福音書 12:1~12

新約(新共同訳)P85~P86

1 イエスは、たとえで彼らに話し始められた。
「ある人がぶどう園を作り、垣を巡らし、搾り
場を掘り、見張りのやぐらを立て、これを農夫
たちに貸して旅に出た。 2 収穫の時になったの
で、ぶどう園の収穫を受け取るために、僕を農
夫たちのところへ送った。 3 だが、農夫たち
は、この僕を捕まえて袋だたきにし、何も持た
せないで帰した。 4 そこでまた、他の僕を送っ
たが、農夫たちはその頭を殴り、侮辱した。
5 更に、もう一人を送ったが、今度は殺した。
そのほかに多くの僕を送ったが、ある者は殴ら
れ、ある者は殺された。 6 まだ一人、愛する息
子がいた。『わたしの息子なら敬ってくれるだろ
う』と言って、最後に息子を送った。 7 農夫た
ちは話し合った。『これは跡取りだ。さあ、殺し
てしまおう。そうすれば、相続財産は我々のも
のになる。』 8 そして、息子をつまえて殺し、
ぶどう園の外にほうり出してしまった。 9 さ
で、このぶどう園の主人は、どうするだろう
か。戻って来て農夫たちを殺し、ぶどう園をほ
かの人たちに与えるにちがいない。 10 聖書に
こう書いてあるのを読んだことがないのか。
『家を建てる者の捨てた石、
これが隅の親石となった。
11 これは、主がなさったことで、
わたしたちの目には不思議に見える。』
12 彼らは、イエスが自分たちに当てつけてこの
たとえを話されたと気づいたので、イエスを捕
らえようとしたが、群衆を恐れた。それで、イ
エスをその場に残して立ち去った。

賛美 129 (1,3,4) 「私の望みは」

I waited for the Lord my God
版: The Psalter, 1912

ABRIDGE
曲: Isaac Smith, 1730?-1800?

① わたし の - の ぞ - み は - た だ 主 に 有 る、
② 主 は ほ ろ - び の - あ な -、ど ろ ぬ ま よ り ▶
③ あ た ら し い さ ん - び と - か ん し ゃ の う た、
④ い か に さ - い わ - い な - こ と だ ろ う か、▶

わ た - し の さ け - び を - き か - れ る か た に。
▶ わ た - し を ひ き - あ げ - い わ - に た た せ る。
主 は - さ ず け ら - れ る - こ の - く ち び る に。
▶ た だ - 主 を お そ - れ て - う や - ま う ひ と は。

① 私の望みは ただ主にあり。
私の叫びを 聞かれるかたに。

③ 新しい讃美と 感謝の歌、
主は授けられる このくちびるに。

2 主はほろびの穴、泥沼より
私を引き上げ 岩に立たせる。ただ主を畏れて 敬う人は

④ いかに幸いなことだろうか、
ただ主を畏れて 敬う人は

説教「権力を捨てる権威」

聖餐式 牧師のみ

賛美 460 (1,3,4) 「やさしき道しるべの」

Lead, kindly Light, amid the encircling gloom
詞: John H. Newman, 1801-1899

LUX BENIGNA
曲: John B. Dykes, 1823-1896

① や さ し き み ち し る べ の - ひ か り よ、
② ゆ く す え と お く み る を - ね が わ ず、▶
③ 世 の さ か え と ち か な れ を - よ ま こ な び、
④ み め ぐ み た し か な れ ば - い ま な お ▶

い え じ は な お も と お く - 日 は く れ -、
▶ よ ろ め く わ が あ ゆ み を - ま も り て - ▶
ほ こ ら か に わ が を - い そ じ を -、▶
▶ わ が 主 は み ち び き た も う た び じ を ▶

さ び し く さ す ら う - 身 - の し ▶
▶ ひ と あ し く さ た ひ と - あ - し ▶
▶ む な し く す あ ご し - 日 - を ▶
▶ み く に の あ さ あ け - そ - め ▶

ゆ く て を て ら し た - ま え -。
▶ み ち び を き て ゆ か せ た - ま え -。
▶ わ が 主 よ、を あ わ す れ た - ま え -。
▶ み か お を あ お ぐ 日 - ま で -。

① やさしき道しるべの 光よ、
家路はなお遠く 日は暮れ、
さびしくさすらう身の
行くてを 照らしたまえ。

③ 世の栄えとちからを よろこび、
誇らかにわが道を 急ぎて、
むなしく過ごしし日を
わが主よ、忘れたまえ。

2 行くすえ遠く見るを 願わず。
よろめくわが歩みを 守りて
ひと足 またひと足
導き 行かせたまえ。

④ み恵みたしかなれば、今なお
わが主は導きたもう旅路を、
み国の朝 あけ初め
み顔を 仰ぐ日まで。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「喜びは主のうちに」 (J.S.バッハ)

司式 福原 之織
説教 向井 希夫牧師
奏楽 高橋 孝子

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。

※讃美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。

【誕生会のリタニー】

司式者：神さまは、9月生まれの方々に
誕生日を与えてくださいました。
いのちをくださる神さま、

みんな：ありがとうございます。

司式者：神さまは、生まれてから今日まで、
この方々の成長を支えてくださいました。
育ててくださる神さま

みんな：ありがとうございます。

司式者：神さまは、どんなときにもいっしょに
いてくださいます。
守ってくださる神さま

みんな：ありがとうございます。

司式者：神さまからの愛のプレゼント、
9月生まれの方々の誕生日を
みんなで喜びお祝いします。

祝福のお祈り 牧師